

検温アラームシステム

KS-COMPACT

ユーザーズマニュアル



バージョンによって画面の表示/表記が異なる
場合がございます。予めご了承ください

2020/12/29 更新

目次

各部の名称	3
設置環境・運用	4
設置環境について	4
運用について	4
本体のセットアップ	5
電源に接続する	5
高さ・角度を調整する	5
起動時の操作	6
温度校正(キャリブレーション)をする	6
検温する	7
体温を測定する	7
設定メニュー	8
設定メニューに入る	8
設定ユーザーにパスワードを設定する	8
警告のしきい値の変更	9
音量変更	9
動画表示機能のオン/オフ	10
動画の再生音量の変更	10
動画の追加	11
動画の削除	12
アカウントの追加	14
アカウントの編集	16
ログビューアーの見方	17
ログ詳細の見方	18
ログの保存期間の設定方法	19
マスク警告機能のオンオフ	20
時刻の調整	21
主な仕様	22
製品仕様	22

各部の名称

本体



- ① サーモセンサー
- ② カメラ
- ③ タッチパネルディスプレイ
- ④ スタンド

- ⑤ 高さ調節ネジ
- ⑥ 角度調整ネジ
- ⑦ アーム
- ⑧ USBポート

- ⑨ 電源コネクタ
- ⑩ 電源スイッチ

設置環境・運用

設置環境について

本製品は特性上、設置環境に大きく影響を受けます不適切な設置環境下では著しく測定精度が低下することがあります。以下の内容をよくお読みの上、設置を行ってください。

- 1. 屋内に設置する**
本製品は屋内用です。基本的に屋外や屋外に近い不安定な環境下ではご使用できません。
- 2. 適切な環境温度下に設置する**
本製品の動作環境温度は10℃～35℃(湿度80%以下)です。より高い精度で検温を行うには、空調設備等で25℃前後に調整された環境が望まれます。
- 3. 無風かつ急激な環境温度の変動がない場所に設置する**
風のある場所や急激な環境温度の変動がある場所では正常に測定できません。屋外に近い出入口付近や空調設備の吹出口付近などの場所は避けてください。
- 4. 直射日光や熱源を避ける**
カメラ部やカメラ部周辺が熱をもつと測定精度が低下します。本体に直射日光が当たる場所や熱源に近い場所は避けてください。
- 5. 測定範囲内に光源や熱源が入らないようにする**
本製品は、対象物から出ている赤外線放射エネルギーを検出して温度を測定します。測定対象者の周囲に光源(直射日光・照明器具等)や熱源がある場合、測定精度の低下・ご検出を引き起こす可能性があります。可能な限り、測定範囲内に光源や熱源が入らないように設置してください。

運用について

本製品は、赤外線サーモグラフィセンサーを用い、対象者から出ている赤外線放射エネルギーを検出して温度を測定します。発熱の疑いがある方を発見するためには適切な運用が必要です。また、発熱の疑いがある方を発見した際は、接触型体温計での再検温を推奨します。

- 1. 測定のための体表露出**
本製品で体表温度を測定するためには、額(ひたい)の一部が露出している状態でカメラから捉えられる必要があります。帽子や髪などで額(ひたい)が覆われている場合は正確な測定ができません。額(ひたい)の一部を露出し、本製品の方に顔を向けていただくよう促してください。
- 2. 体表温度と体温の違い**
本製品で測定される温度は対象者の体表温度(皮膚温)であり、体温(深部体温)とは異なります。発熱の疑いがある方を発見した際は、接触型体温計での再検温を推奨します。
- 3. 気温(環境温度)による体表温度の変化**
体温は気温が変化してもそれほど大きく変化しませんが、体表温度は気温によって変化し、気温が高くなるにつれて体温に近づいていきます。気温が低くなると体温と体表温度の差が大きくなり、同時に個人差の幅も大きくなります。そのため、外気温の低い時期に屋外から屋内に入ってくる対象者を測定する場合には、アラームしきい値を下げるなどの検討が必要です。また、体表温度が著しく低下している場合には、本製品での測定ができないことがあります。
- 4. 日光や暖房等による体表温度の上昇**
強い日差しや暖房等によって体表温度が上昇していることがあります。

本体のセットアップ

電源に接続する

1. スタンド側面下部の電源コネクタにACアダプタを接続します。



2. ACアダプターに電源ケーブルを接続します。

3. 電源プラグをコンセントに接続します。

4. 電源スイッチをオンにします。

- 電源を切る際はそのまま、電源スイッチをオフにしてください。

高さ・角度を調節する

カメラ・ディスプレイの高さ・角度が適切になるように調整を行います。
この調整には、プラスドライバーと付属の六角レンチが必要です。※卓上タイプは高さの調節ができません。

1. プラスドライバーを使用し、高さ調整ネジを緩めます。



2. 六角棒レンチを使用し、角度調整ネジを緩めます。



3. カメラから50～100cmの距離に立ち、ディスプレイの中央に顔が映るように調整します。



4. プラスドライバーと六角棒レンチを使用し、高さ調節ネジ・角度調節ネジを締めて固定します。



設置環境については、P.4 設置環境についてをよくお読みください。

起動時の操作

温度校正（キャリブレーション）をする

温度校正（キャリブレーション）を行います。
より正確に体温を測定するため、温度校正は電源をONにする度に行ってください。



- ・電源をOFFにすると温度校正の情報がリセットされます。
- ・設置場所の環境温度が変わりやすい場合（朝、昼、晩で温度が変わる、空調が安定しない場所等）こまめに温度校正を行ってください。設置環境については、P.4 設置環境についてを参照ください。
- ・空調の温度が安定したのち、温度校正を行ってください。

1. 右下のロゴをタップし、メニュー項目を表示させます。
ロゴが表示されていない場合は、ディスプレイの下部から上にスワイプしロゴを表示させます。



2. 温度校正をタップし、温度校正モードに入ります。

3. カメラから50～100cmの距離に立ち、カメラに顔を向けます。



体温が36～37℃の方で温度校正をおこなってください。また、**おでこを出して**温度校正してください。

4. カメラに顔をまっすぐ向け、円内に顔を納めて温度校正が完了するまで待ちます。



5. 温度校正が完了すると、「キャリブレーション値を動的に調整します。」と表示され、通常画面に戻ります。



- 温度校正が完了しましたら、ご使用が可能です。

検温する

体温を測定する

カメラの前に立つだけで自動的に体温が測定されます。
体温が高温であった場合には警告が表示されます。

1. カメラから50～100cmの距離に立ち、カメラに顔を向けます。



適正な距離でないと正確に体温を測定できません。必ず50～100cm以内でご使用ください。

2. 顔を認識すると、枠線が表示されます。



3. 測定が完了すると、体温が表示されます。

- 測定された体温が正常な場合、ポーンという音とともに温度が表示されます。
- 測定された体温が高温であった場合、ピーピーという警告音とともに温度が表示されます。



警告を表示するしきい値は設定で変更できます。(P.8・9参照)



「ガイド線に顔を合わせてください」という警告が出る場合、以下の原因が考えられます。

- 測定距離が離れており、測定が難しい場合
- 帽子やマフラーなどで顔の判断が難しい場合
- 体表温度が著しく低い(35.5°C)以下の場合

設定メニュー

設定メニューに入る

1. 右下のロゴをタップし、メニュー項目を表示させます。
ロゴが表示されていない場合は、ディスプレイの下部から上にスワイプしロゴを表示させます。



2. メニューをタップします。
3. パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して決定をタップします。
パスワードを設定していない場合は、そのまま決定を押します。



設定メニュー左上の < をタップすることで、通常画面に戻ります。

設定ユーザーにパスワードを設定する

管理者以外が設定変更を行えないようにする必要がある場合は、パスワードを設定します。

パスワード変更も同様の手順で行います。

1. パスワード設定をタップします。



2. 設定するパスワードを新しいパスワードと新しいパスワード（確認）に入力します。
パスワード変更の場合は、現在のパスワードに古いパスワードを入力する必要があります。



パスワードは数字のみ設定可能です。

3. 確定をタップします。

設定メニュー

警告のしきい値の変更

警告を表示するしきい値の変更を行います。

1. 検温設定をタップします。



2. アラーム温度の値をタップし、設定したいしきい値を入力します。
例：37.5度の場合「37.5」



3. 適応をタップして変更を適用します。

4. 通常画面に戻るをタップして通常画面に戻ります。

音量変更

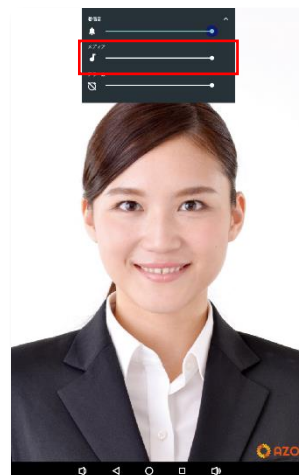
音量の変更を行います。
この設定は、設定メニューに入っていないなくても可能です。

警告音等を鳴らさない場合も同様の手順で行います。

1. ディスプレイの下部から上にスワイプし、ナビゲーションバーを表示します。



2. 右端のボリュームアイコンをタップします。
3. ボリュームバー右端の  をタップし、詳細メニューを表示します。
4. メディアのボリュームバーで音量を調整します。
警告音等を鳴らさない場合はミュートにします。



設定メニュー

動画表示機能のオン/オフ

ディスプレイ上部に動画を表示する機能のオンとオフを切り替えます。

動画によって検温の案内・広告等表示できます。



1. 詳細設定をタップします。



2. 動画表示機能をタップします。



3. 機能をオンにする場合は「はい」、機能をオフにする場合は「いいえ」に設定します。

4. 適応をタップし、変更を適用します。

動画の再生音量の変更

ディスプレイ上部に表示される動画の再生音量の変更を行います。

1. 動画部上の適当な場所で上向きに数回スワイプすると音量が上がり、下向きに数回スワイプすると音量下がります。



設定メニュー

動画の追加

ディスプレイ上部に表示する動画ファイルの追加を行います。

事前に動画ファイルをUSBメモリにご用意ください。



動画の形式は、MP4(H.264)1920*1080にしてください。

1. ディスプレイの下部から上にスワイプし、ナビゲーションバーを表示します。



2. 中央のホームボタンを押します。

3. FileManagerをタップします。



4. スタンド側面のUSBコネクタに、動画ファイルを入れたUSBメモリを差し込みます。

5. USBをタップし、ルートフォルダを開きます。
(ルートフォルダの名前は異なります)



6. 追加する動画ファイルを長押しします。

7. Copyをタップします。



8. Internal Flashをタップし、DZBP_Download / VideoInfoフォルダを開きます。

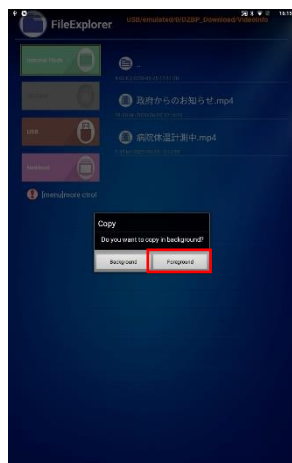
9. 現在のフォルダ .. を長押しします。

設定メニュー

10. Pasteをタップします。



11. Foregroundをタップします。



複数ファイルを追加する場合は、上記手順を繰り返して行ってください。

複数ファイルある場合は、名前順で再生されます。

12. ファイル追加後、本体の電源スイッチを入れ直し再起動します。

動画の削除

ディスプレイ上部に表示する動画ファイルの削除を行います。

1. ディスプレイの下部から上にスワイプし、ナビゲーションバーを表示します。



2. 中央のホームボタンを押します。

3. FileManagerをタップします。



4. Internal Flashをタップし、DZBP_Download / VideoInfoフォルダを開きます。

設定メニュー

5. 削除する動画ファイルを長押しします。

6. Deleteをタップします。



7. ファイル削除後、本体の電源スイッチを入れ直し再起動します。

設定メニュー

アカウント管理 1

ログデータを簡単に参照できるように顔写真と氏名を登録する機能です。



顔認識の精度は環境や状況に影響され、完全にデータが紐づくとは限りません。予めご了承ください。

アカウントの追加

顔情報とアカウント情報、氏名を登録します。

1. アカウント管理をタップします。



2. 画面右上の人型マークをタップします。



3. アカウント、名前を入力します。



顔写真を登録する前にアカウント、名前の入力して下さい。

アカウントに入力する内容は自由です。

Ex. 部署、チーム名等

4. 顔写真を追加をタップして撮影モードに入ります。



設定メニュー

アカウント管理 1

5. 顔写真を撮影します。



撮影には**5秒前後**かかります。

顔は正面を向き、撮影枠いっぱいになるよう位置をご調整ください。

マスクや帽子等は外して撮影ください。

撮影枠には登録する本人のみを納めて下さい。

右上の  ボタンから撮影をキャンセルできます。

6. 撮影終了

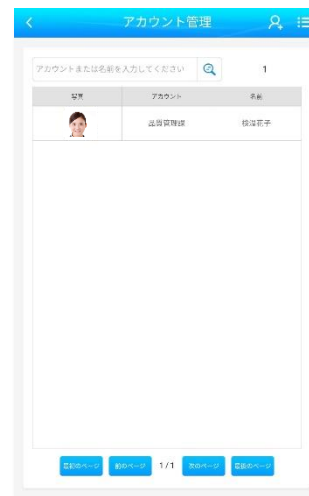
撮影終了後、問題なければ左下のチェックをタップします。撮り直す場合は右下の×をタップして下さい。



7. 保存をタップし情報を保存します。



アカウントが追加されると以下のように表示されます



設定メニュー

アカウント管理 2

アカウント編集

顔情報とアカウント情報、氏名を編集します。

1. 編集したいアカウントをタップし画面右上のアイコンをタップします。



2. 表示されたタブから編集内容を選択します。



3. アカウント、名前を入力します。

- ① 写真変更
- ② 編集
- ③ 削除
- ④ インポート
- ⑤ エクスポート

① 写真変更…アカウントの写真を再撮影します。

② 編集…アカウントの名前を変更します（アカウント欄は変更できません）

③ 削除…アカウントを削除します。

④ インポート…他のKS-COMPACTからアカウントリストをコピーするのに使用します。他のKS-COMPACTからエクスポートで書き出したEXCELデータ（アカウントリスト）をインポートします。

⑤ エクスポート…アカウントリストをEXCELデータで書き出します。ファイル名はPersonList.xlsです。



インポート/エクスポートにはUSBメモリが必要です。USBメモリを本機に挿してご使用ください。USBを差さずにインポート/エクスポートを行うとエラーメッセージが表示されます。

設定メニュー

ログ機能 1

検温情報や顔情報をログデータとして記録する機能。

▶▶▶ ログデータは検温毎に記録されます。

ログビューアーの見方



① ログを確認する期間の設定

開始日…ログを確認する始点日を設定

終了日…ログを確認する終点日を設定

検索ボタン…検索を開始します。

② 日付毎の検索結果

合計…日付毎の合計

通過回数…検査をパスした回数。

アラーム回数…発熱の疑いを感知した回数。

③ 検索期間内の検査回数合計

④ メニュー

詳細ログ…日付ごとの詳細ログの確認。

エクスポート…検索期間の概要データをエクスポートします。ファイル名はサマリーデータ_年日時.xls

ログ削除…期間を設定してログを削除します。概要データとログ写真を削除して下さい。



エクスポートにはUSBメモリが必要です。USBメモリを本機に挿してご使用ください。USBを差さずにインポート/エクスポートを行うとエラーメッセージが表示されます。

1. ログビューアーをタップします。



2. 検索期間の設定方法

検索したい開始日と終了日を設定し検索をタップします。



設定メニュー

ログ機能 2

詳細ログの見方

詳細ログでは、測定時撮影された画像、測定された日時、アカウント、名前等の確認が可能です。



顔認識の精度は環境や状況に影響され、完全にデータが紐づくとは限りません。予めご了承下さい。



① ログを確認する期間の設定

開始日…ログを確認する始点日を設定

終了日…ログを確認する終点日を設定

体温…全て/通過/アラームでフィルタできます

ID …アカウント管理で設定したアカウント名でフィルタできます

名前 …アカウント管理で設定した名前でフィルタできます

検索ボタン…検索を開始します。

② ログ詳細の検索結果

写真…測定時撮影された写真

日付…測定した日付。

時刻…測定した時間。

ID…アカウント管理で設定したアカウント名。

名前…アカウント管理で設定した名前。

体温…測定した体表温度

マスク…マスクの有無。マスクをしていない場合-1、マスクをしている場合1



マスクの有無の数値は、マスク無し測定の許可の設定した場合全て-1となります。

③ メニュー

エクスポート…ログの詳細データをエクスポートします。データリストは詳細データ_年日時.xls、顔写真データは日付ごとのフォルダに書き出されます。



エクスポートにはUSBメモリが必要です。USBメモリを本機に挿してご使用ください。USBを差さずにインポート/エクスポートを行うとエラーがメッセージが表示されます。



設定メニュー

ログ機能 3

ログの保存期間の設定方法

ログの記録データの保存期間を設定します。

1. 検温設定をタップします。



3. 適応をタップし設定を保存します。



2. ログの保存期間（日）の数字をタップし保存期間を決定します。



測定画面に戻る場合は通常画面に戻るをタップして下さい。

メニュー画面に戻る場合は戻るをタップして下さい。



ログの保存期間は1～60日に設定が可能です。

0日は選択しないでください。

日数が古いデータから削除されます。

ログは日数の他にデータ容量にも依存し、データがいっぱいになると古いデータから削除されます。

設定メニュー

マスク警告機能のオン/オフ

本機は被測定者がマスクを着用しているか判断し警告することができます。



マスク警告機能の精度は環境や状況に影響され、完全に警告が出るとは限りません。
肌色のマスク、柄の入ったマスクは誤検知しやすい場合がございます。予めご了承ください。

1. 詳細設定をタップする。



3. 適応をタップし設定を保存します。



2. マスク設定からマスク有無の許可を設定します。



4. <をタップしメニューに戻ります。

- ・マスク警告機能をオンにする場合は
マスク警告機能を『はい』/マスク非装着を許可を『いいえ』
- ・マスク警告機能をオフにする場合は
マスク警告機能を『いいえ』/マスク非装着を許可を『はい』
に設定して下さい。

設定メニュー

時刻の調整

1. ディスプレイの下部から上にスワイプし、ナビゲーションバーを表示します。



2. 中央のホームボタンを押します。

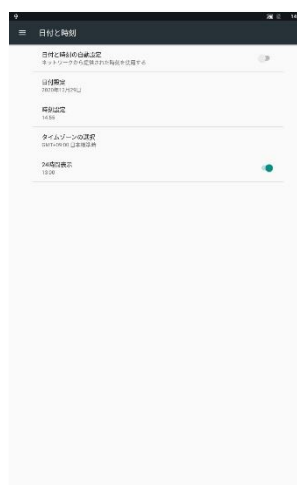
3. Settingsをタップします。



4. 日付と時刻をタップします。



5. 日付と時刻を設定して下さい。



6. 本体の電源スイッチを入れ直し再起動します。

主な仕様

製品仕様

本体

寸法(伸縮タイプ/卓上タイプ)	292(W)x1600(H)x300(D)/292(W)x450(H)x300(D)
重量(伸縮タイプ/卓上タイプ)	12kg / 5kg
ディスプレイ	10.1inch IPS LCD パネル
解像度	800*1280 px
内部ストレージ	8GB
オーディオ	2.5Wスピーカー
ネットワークモジュール	Ethernet and Wireless (WIFI)

カメラ

カメラ解像度	2MP
カメラタイプ	ワイドダイナミックカメラ
F値	F2.4

サーマルカメラ

温度検出距離	0.5~1.0m
温度測定範囲	30~45℃
測定精度	±0.3℃/ 1m
応答速度	≦500ms

電源

電源電圧	AC100V
消費電力	最大13.5W

